

平成30年度 認知症地域支援推進員
活動報告書

(八尾市)

キッズサポーター

平成30年度より3か年計画にて
八尾市内全小学校（28か所）
キッズサポーター養成講座の開催



西山本小学校4、5、6年生
認知症キッズサポーター養成講座

「認知症」って、なあに？



平成30年4月28日
八尾市認知症サポーターキャラバンメイト

多くの専門職より
“若い世代へ啓発
したい”の
声が届いて
実現できてきました！

小学生からの質問(例)

- ・犬が認知症になることってありますか？
 - ・もし小学生が認知症になつたらどうするのですか？
 - ・食べたことを忘れた人がまた食べるとき、胃袋の状態はどうなっているのですか？
 - ・認知症は怖いですか？
- などの質問がありました



H30年度開催実績

6小学校開催
578名受講。

今後の予定
2小学校開催予定。

地域で一般募集の（誰でも参加可能！） 認知症サポーター養成講座企画開催



チェーン店薬局
店内カフェスペース
で
開催！



特養さんの
デイルーム
で
開催！

市民より
“どこかで
サポーター養成講座
してませんか？”の
声に応えたい！

場所探し、チラシの配布、
関係機関への協力など
試行錯誤で開催。

H30年度開催実績

7か所開催 87名受講。
今後、2か所開催予定。

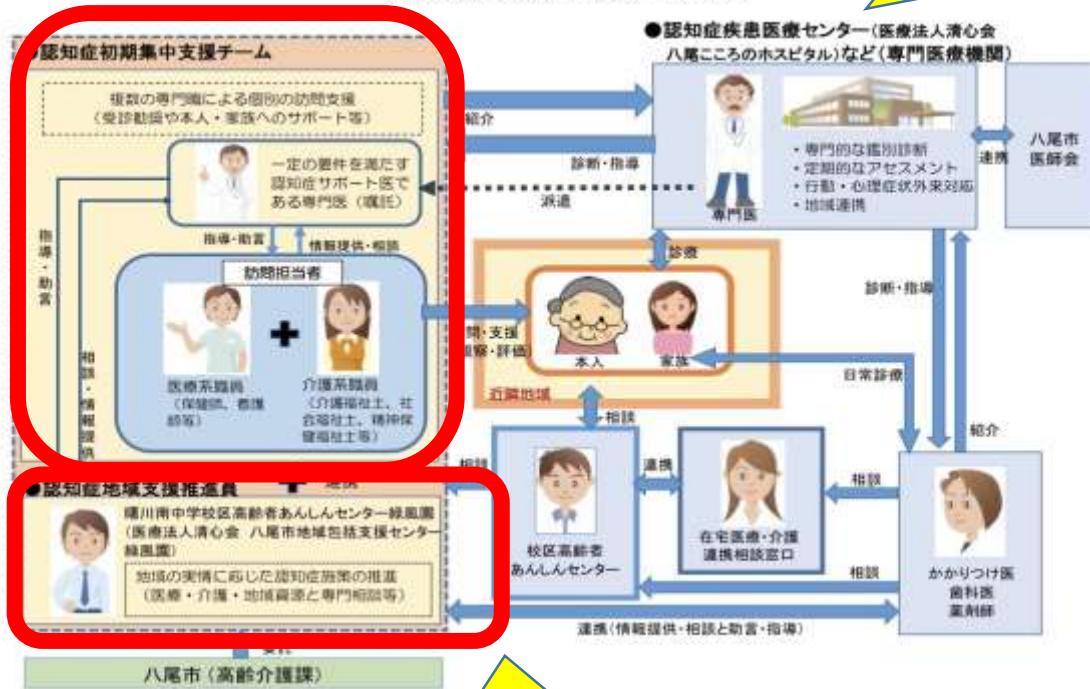
家族が認知症の理解が
きていないケースなどの
際に講座案内していただく
ことが増えました。

行政、医療、介護、地域
より多くの協力が得られ
るようになった！

Ⅱ 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の連携

H30年4月より
認知症初期集中支援チーム
が設置されました。

認知症疾患医療センターとの
連携強化！
(定期的な情報共有の機会をもつ)



認知症初期集中支援チームへの
相談経路について

相談は、すべて地域包括支援センタ（校区高齢者あんしんセンター）より受ける流れになっています。

・認知症初期集中支援チームと
認知症地域支援推進員の連携は重要！

⇒

認知症初期集中支援の個別ケースを通じて把握された地域課題を整理することで認知症地域支援推進員として、地域づくりの活動に（行政機関などとの協働で）活かしていきます。

若年性認知症 交流会 (本人ミーティング)



2018年10月26日
若年性認知症
本人交流会

本人交流会
若年性認知症の本人同士で話し合うことができる上手な方法がわかるかもしません。当日は、初めて開催されて参加させて頂きました。気軽に話そうと思いましたが緊張してなかなか話ができませんでした。

開催時間
10時半～12時

開催場所
八尾フリスマホール
会議室

参加希望の方は事前に
ご連絡ください

午後より
八尾工商会議所で
若年性認知症の本人による講演会があります。

ケース相談(一部事例概要)

事例. 家族からの相談。

若年性認知症の夫への在宅サービス提案や同年代の家族介護者の会など教えてもらいたい。

また、夫の行動への対応方法を教えてほしい。

⇒フォーマル・インフォーマルサービスや利用できる制度など本人・家族支援の社会資源の情報提供を行っていく。

夫の状態を聞き取り、認知症の種類別の特徴と対応についての話をさせていただく。

家族の話を聞いて、思い共感させていただきました

ケース相談(一部事例概要)

事例. 地域包括支援センターからの相談。

若年性認知症の妻のことを夫は受け入れられず喧嘩がエスカレートしてきている。

夫へ認知症理解と本人への今後の支援方法について一緒に考えてもらいたい

⇒自宅訪問にて、夫婦、お互いの話を聞き取り、定期的な訪問をさせていただく。

夫へ地域開催の認知症サポートー養成講座を案内させていただき参加された。受講後、少しづつ認知症の理解と受け入れができるて喧嘩は減った。妻には、定期的に散歩できる相手を作り相談見守り体制を作らせていただいた。

認知症カフェの推進活動

活動前の思い)

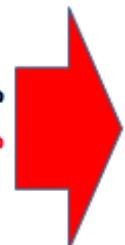
- ①認知症カフェって何？
- ②どこに、だれに話をしにいくの？
- ③一人でどうしたらいいのかなあ？

活動開始)

- ①市内1か所であったCAFÉこころを市のモデル事業として、認知症カフェの啓発・広報周知活動を行っていく。
- ②市内全包括、グループホーム、認知症対応型通所介護などの訪問で認知症カフェの紹介や開催の提案を行う。
- ③市の担当者と認知症カフェの事業化に向けての相談を行う。



地域のどこかでいつも気軽に相談できたり、自分の思いを伝えたり、情報を知れる場所。人つながれる場所を作りたい！



H29年度より“やおオレンジカフェ”として、市の登録制事業が開始。

推進員としては、

- ①登録要綱案
- ②のぼりデザイン案作成に携わる。

やおオレンジカフェ

(H31.1月末までの登録12か所)



やおオレンジカフェの 参加者の声(一例)



ここに来るのが
楽しみです。

いつもお父さんは、何度も同じことを言うので本当につかれます。ここに来たらみんながやさしく話を聞いてくれるので安心します。

母の介護はしていきたいが
僕もしんどいことがある。
今日は話を聞いてもらって
ありがとうございます。



家にひとりでいてもテレビを見るだけ。
ここ(やおオレンジカフェ)に来て、みんなと話をするだけでもうれしいと思っている。



認知症高齢者声かけ体験の開催

目的)

- ①認知症の理解を広め一人でも多くの地域の方が認知症の人や家族を見守り支える意識を持てるようにしていく。
 - ②認知症の徘徊による行方不明ができるだけ早く発見し無事に保護できるような仕組みをつくる。
 - ③認知症になっても安心して外出できるまちづくりを目指すことができる。

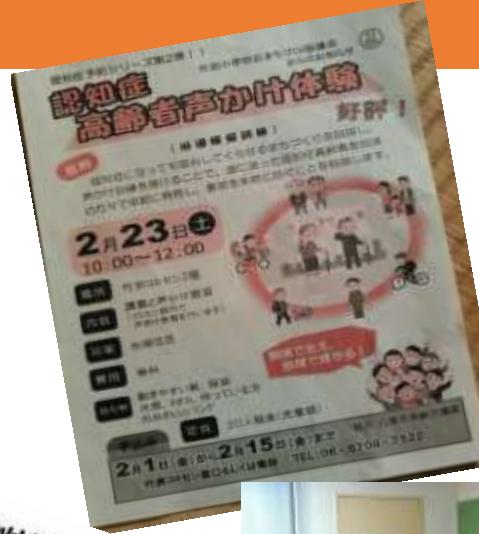
地域の方が主体となって開催しています。
地域住民、行政、包括、推進員などで
声掛け体験の詳細な内容を話し合いました。
(特に認知症高齢者役の設定には気をつか
いました。)

H30年度開催実績

- ・久宝寺地区 54名参加
 - ・安中地区 37名参加
 - ・八尾市民生委員 65名参加
 - ・ザ・レスター・ジュマンション
17名参加
 - ・志紀地区 33名参加

今後の開催予定

2月 竹渕地区開催



実施してこんなことが…

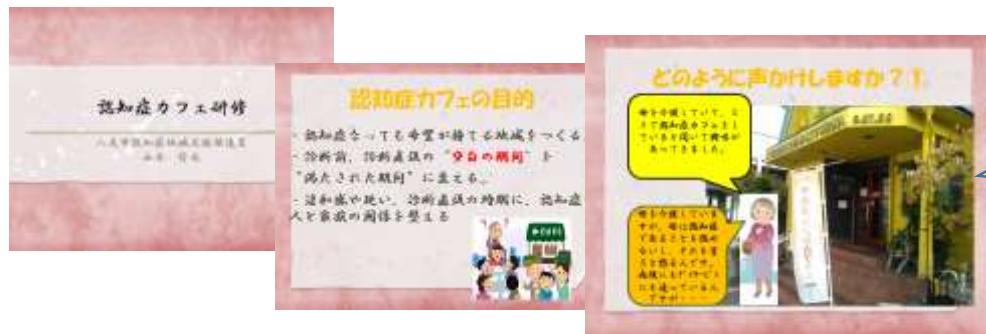
例・声掛けに拒否が強いケースでは、上手く対応できず参加者が思わず涙ぐんでしまうことも……

にこにこしている高齢者役に
すると逆に声かけにくいなど
の意見もありました。

参加者の感想(アンケートより一部抜粋)

- 知らない人（特に異性に対して）へ声を掛けるのが難しい。
 - 地域で高齢者を見守っていけるよう、すすんで声掛けしていくこうと改めて思った。
 - 何も声を掛けることができない、なんと難しいことかと知った。

“認知症カフェ研修”の企画、開催



地域で認知症カフェの開催などの提案をすると

- ・ “認知症カフェ”ってなんですか？
 - “認知症カフェ”ってどうしたらできるのですか？
 - ・ 参加していくにはどうしたらしいですか？
- などの声がありました。

地域のボランティーグループ、民生委員、民間団体に向けて開催させて頂きました。
受講後、やおオレンジカフェを開催されたりスタッフとして活動しています。

平成30年度実績
2回開催 32名参加
今後の開催予定
3月 介護予防サポーター向けに開催予定

“認知症ライフサポート研修”の企画、開催

専門職の方との何気ない普段の会話から

認知症の相談ケースが多くなってきたけど、大変になってからの相談になっていることが多い。もっと早くに相談してくれればいいのに・・・・の声がありました。



医療、介護の専門職向けに開催させて頂きました。
認知症の方の初期への関わり方の大切さや、職種間のアセスメントの視点の違いを改めて気づける機会になりました。